

4 地域への優秀な人材の供給に関する目標	
36	<p>県内外の12大学とともに、COC+事業の推進に取り組み、県をはじめとする19の参加自治体及び15の参加団体・法人などとの強固な連携のもと、県内、県外出身を問わず、学生が様々な魅力ある県内企業・施設・医療機関・団体とそれらに携わる人々との出会い、ふれあいの場を数多く設けるなど、山梨のよさを知る機会を充実させるとともに、県内就職に関する情報提供や就職支援を行う。その結果として、中期計画期間中に国際政策学部においては県内就職率四十五パーセント以上を達成し、人間福祉学部においては、県内就職率五十パーセント以上を達成する。また、看護学部においては、中期計画期間中に県内就職率五十五パーセント以上を達成する。</p> <p>・キャリアコンサルタントによる個別指導、面接練習等学生に対し専門家の見地から幅広い就職支援を実施するほか、社会連携課を中心に、各種実践型教育プログラムや未来計画研究社の各種イベントへの参加を推進することを通じて、学生の地元企業への関心を高め、県内就職率の向上を図る。(No19参照)</p> <p>・自治体、保健・医療・福祉関連機関及び職能団体等の連携を強化するとともに、主要実習を通じて、学生の地元就職に向けた意識の醸成を図るほか、山梨経済同友会との連携協定に基づき、複数の授業科目で会員企業による講義を実施することにより、県内企業を理解する機会を設ける。(No32参照)</p>
	<p>・キャリアコンサルタントを10か月間配置(前期4月～7月、後期は10月～3月)した。また本学職員とコンサルタントを通じて、学生面談指導、エントリーシート添削等の就職支援を行った(延べ222名の学生が利用)。さらにコロナ禍拡大に対応するため、対面のほか、オンラインでの指導を強化した。面接対策用の動画も作成し、キャリアサポートセンターのclassroomに動画をアップロードし、学生がいつでも視聴できるよう改善を図った。</p> <p>・未来計画研究社の各種イベントについては、キャリアサポートセンターからのメールや関係する講義・ゼミなど多様な方法で周知を行った(2020年度参加学生82名)。なお当年度は、コロナウイルス感染拡大に伴い対面での説明が難しくなったため、社会連携課から全学生へ「やまなし未来創造教育プログラム」における「フューチャーサーチ説明会」や「他大学との単位互換制度」について、メールでの情報発信を強化した。併せて、「キャリアデザインI」などの関連する複数のオンライン授業を通して、教員から学生へ事例紹介を行い周知することで、本事業に対する参加促進を図った。</p> <p>・地元企業を知り、関心を高める機会として、地元企業・団体と学生が協働してプロジェクトを実施する授業科目「フューチャーサーチ」を実施した(期間8か月、実施事業数27事業、本学履修者18名)。さらに履修者と企業との交流の機会として、Miraiプロジェクトマッチングイベント「未来計画研究社入社説明会」をオンラインで開催した(参加企業26社、実施事業数27件)。</p> <p>・新型コロナの影響で、前期授業科目である「インターンシップ」において実施する予定であった山梨県中小企業団体中央会との連携と山梨経済同友会の会員企業による講義は断念した。また、県内で就職が可能な企業等13団体を招聘した「学内企業ガイダンス」を12月14日～12月18日の期間でオンデマンド形式で開催し、21名の学生が視聴した。</p> <p>・令和3年3月31日現在の県内就職率は、国際政策学部32.4%(前年度27.3%)、人間福祉学部37.8%(前年度40.8%)、看護学部68.4%(53.2%)となり、全体としては増加傾向にある。なお、県内出身者の歩留まり率は、国際政策学部53.6%(前年度47.5%)、人間福祉学部66.7%(57.9%)、看護学部95.2%(79.3%)であり、大きく改善した。</p> <p>・文科省の採択を受けた「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」において、キャリアサポートセンター関係では、令和3年度の開設に向けて「地域しごと概論」「地域のチャレンジ1・2」「提案書作成のためのスキル」の4講座の準備を行い、キャリア関係科目の充実を図った。(No.32参照)</p>